

梅雨入りしたのに、晴天の日が続きます。地島小学校では熱中症指数を掲示し、子供たちに注意喚起を促しています。

こもら浜探検

5月27日(木)に、こもら浜を探検しました。こもら浜は、学校から泊に向かう途中、右手にある海岸です。潮だまりには、いろいろな生き物がいました。



アメフラシのたまご

小さな魚、カニ、イソギンチャク、アメフラシ、アメフラシの卵など、図鑑では知っていても、実際に海で生きているのを見るのは初めてという子供もいました。捕まえた命は、最後はすべて海に返して終わりました。



命を育てる

地島小学校では、今、たくさんの命が育まれています。幼稚園のチョウ、史玖さんが担当している朝顔、ヒマワリ、キュウリ、トマトなどの夏野菜、4年生のゴーヤなど・・・毎日の水やりもがんばっています。

朝の会での対話

地島小学校では、毎朝、全校で朝の会をしています。朝の挨拶、ラジオ体操、今月のめあての確認、そして、全児童の対話活動をしています。

対話活動では、その日の担当の児童が、今日のテーマを決めて、みんなに伝えます。その後、そのテーマに沿って、全員が発言をしていきます。出てきた意見は、担当児童がホワイトボードに書き込んでいきます。

そして、ほかの人の考えに質問したり、付け加えたりしていきます。

時には、一つの意見にまとまる時もあれば、いくつかの意見に分かれたままの場合もあります。

最後に、担当者が今日の対話を振り返ってまとめます。このような対話を4月5月と毎日重ねてきました。その結果、次のような成果がみえてきました。

- みんなの前で話すことへの抵抗感が減ってきました。はじめは発言しなかった子供も、今では必ず発言することができます。
- ほかの人の考えにつけくわえたり、質問する姿が増えてきました。
- 担当者のまとめ方も上手になってきました。

このように他者の話を聞いて、自分の考えをつくるということは、学習活動でも発揮される大切な力です。対話するための基礎を培っています。

地島山笠学習

地島には地島山笠があります。例年、7月15日に、山笠が地島の二つの集落をまわり、島中が盛り上がります。島で受け継がれたこのまつりは、子供たちが伝統文化にふれるすばらしいチャンスです。

そこで、今、総合的な学習の時間を使って、地島山笠について調べています。先日は、山笠の全容を知る学習を行いました。今後は、山笠に詳しい地域の方に、直接、話をうかがい、さらに山笠について掘り下げていきます。

